



博多まちづくり推進協議会

HAKATA TOWN PLANNING PROMOTION COUNCIL

2022年度 事業報告書

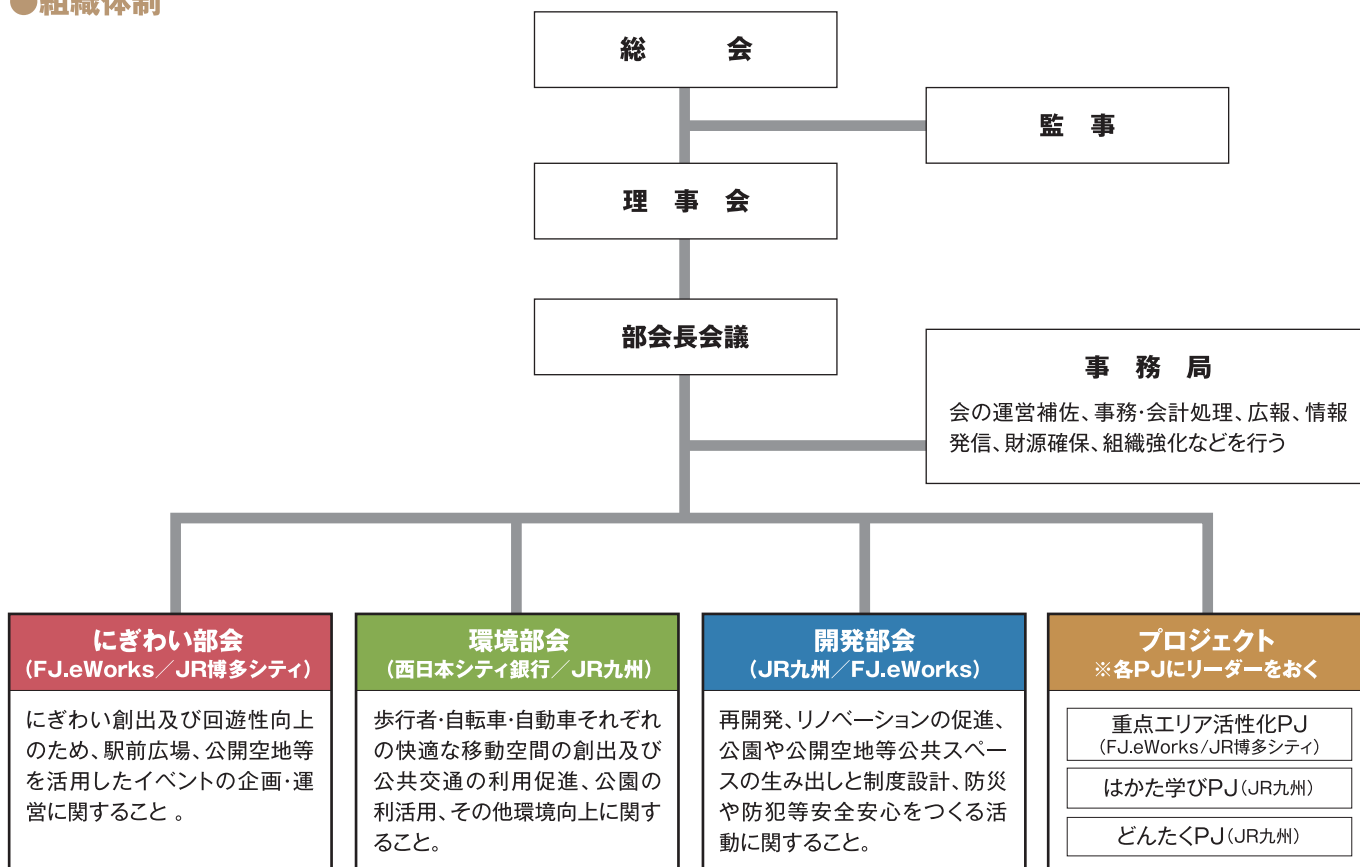
Annual Report 2022

2022年度(令和4年度)の活動

2022年度(令和4年度)は、「アクションプラン(2020-2022)」の最終年度であり、「博多まちづくりガイドライン」に描く博多の新しい将来像実現に向け、活動してまいりました。

新型コロナウイルス感染症対策については継続して取り組み、はかた駅前“どんたく”ストリート等の屋外イベントについても、安全・安心に取り組みました。また、国家戦略道路占用事業を活用し、筑紫口中央通りにおける「はかたイー👍ストリート」、明治公園における「アメイジングパーク明治公園」、冬期イルミネーション事業「冬のファンタジー・はかた」の開催等、新型コロナウイルスの影響を受けた博多のまちに活気とにぎわいを取り戻すべく、「歩いて楽しいまち」「美しく安心なまち」の実現に向けて活動を行いました。

●組織体制



●活動エリア

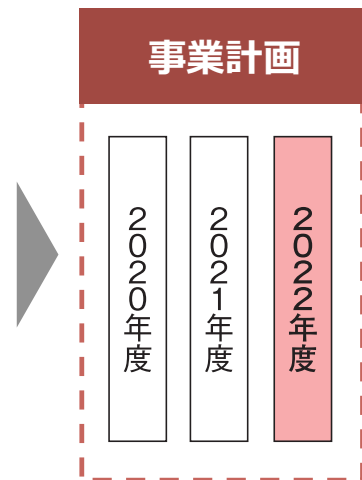


博多駅を中心に東西約1.5km、南北約1kmのエリア
※活動内容によって対象エリアを検討

「博多まちづくりガイドライン」と協議会の活動

博多のまちでは、まちづくりの方向性や方針をまとめた「博多まちづくりガイドライン」をもとに、様々な関係者が将来像を共有しながら、その実現に向け、まちの魅力や価値を高めていく活動が進められています。

博多まちづくり推進協議会では、「博多まちづくりガイドライン」に描くまちの将来像を実現するため、概ね3年間で協議会が主体となって重点的に取り組む活動と、その活動を通じて達成したい目標を定めた「アクションプラン」を策定し、まちづくりを推進しています。



●アクションプラン(2020-2022)

博多のまちは、博多駅周辺の開発が進み、さらに2022年度には地下鉄七隈線延伸が予定されるなど、大きく変化しています。

特に、地下鉄七隈線延伸は、福岡市南西部と博多駅地区との移動時間を大幅に縮めるとともに、渡辺通地区や天神地区との回遊性のさらなる向上に寄与するとともに、九州全体や本州方面へのアクセスの拠点である博多駅地区の吸引力が高まり、博多のまちの存在感が一層高まることが予想されます。

そこで、2020年度からの3年間で、

博多の新たなステージに向けて、博多の活力やにぎわいを“拡げる”期間と位置づけました。

基本方針	アクション
歩いて楽しいまちづくり	I 地下鉄七隈線延伸に向けて、歩いて楽しいまちとしての魅力の更なる向上
	II 博多駅周辺の更なる回遊性向上と新たなにぎわい創出
	III 歩行者中心で、公共交通・自転車・自動車とのバランスの取れた、理想的な交通体系の共有
	IV 博多に集う様々な人たちが、博多の歴史・文化・食をより深く知り、より深く楽しむまちづくり
美しく安心なまちづくり	V まちの防災機能の強化
	VI 美しく、環境に配慮したまちづくり
	VII 全ての人のため、安全・安心なまちづくり

歩いて楽しいまちづくり

アクション

- I 地下鉄七隈線延伸に向けて、歩いて楽しいまちとしての魅力の更なる向上
- II 博多駅周辺の更なる回遊性向上と新たなにぎわい創出
- III 歩行者中心で、公共交通・自転車・自動車とのバランスの取れた、理想的な交通体系の共有
- IV 博多に集う様々な人たちが、博多の歴史・文化・食をより深く知り、より深く楽しむまちづくり

●第12回はかた駅前“どんたく”ストリート(特別協賛事業) 5/3(火・祝)、5/4(水・祝)

博多駅地区のにぎわい創出と福岡都心部全体の活性化を目的に、博多どんたく港まつりの主要行事として「はかた駅前通り」の約135mをステージとする「はかた駅前“どんたく”ストリート」を3年振りに開催。当日の検温と消毒の徹底、演技中のマスク着用を義務付ける等、新型コロナウイルス感染症対策を取った上で参加いただいた。

2日間とも晴天に恵まれ、両日合わせて1万4千人を超えるお客さまにご来場いただいた。博多駅前のにぎわい創出につながったほか、天神地区との回遊性も向上し、福岡都心部全体の盛り上がりにも貢献した。

出演団体：延べ23団体(5/3：10団体、5/4：13団体)

出演者数：約1,190名

来場者数：14,220名 (5/3…10:00～11:30 6,899名)
(5/4…10:00～11:40 7,321名)



●冬のファンタジー・はかた(特別協賛事業) 11/10(木)～1/11(水)

博多駅周辺地区の回遊性向上を目的に、11/10(木)～1/11(水)の計63日間、はかた駅前通り、大博通り、筑紫口通りなどの街路樹にLEDストリングスを装飾してまちを彩る「冬のファンタジー・はかた」を開催した。

今年は、はかた駅前通りに、シャンパンゴールド色のLEDストリングスを新たに設置するとともに、筑紫口中央通りにはホワイト色のLEDストリングスを新たに設置。また、福岡市協力のもと「国家戦略道路占用事業」を活用し、大博通り、住吉通りの歩行空間に「LED製ライトニングオブジェ」を設置。JR博多シティ、キャナルシティ博多などの商業施設とあわせ、エリア全体で約100万球のイルミネーションがクリスマスシーズンの街並みを華やかに演出した。



魅力あるはかたのまち歩き

●博多灯明ウォッチング 10/22(土)

秋の博多を灯明で彩る「博多灯明ウォッチング」(博多部まちづくり協議会主催)が3年ぶりに開催。当協議会では、博多駅2Fデッキから承天寺通りを経て博多千年門までの通りに約600個の灯明を並べ、博多駅から寺社エリアへの回遊を促した。



●博多まち歩きマップ デジタル版作成 2月～

博多駅周辺、中洲川端、御供所エリアのおすすめのまち歩きコースを紹介する冊子「博多まち歩きマップ」のデジタル版を作成。「Stroly」というイラストマップのDX化ツールを使って作成することで、スマートフォンやタブレット上の「博多まち歩きマップ」内に現在地が反映され、より博多のまち歩きを楽しむことができる。デジタルマップを使用した人の移動履歴やスポット情報閲覧状況等もデータとして見ることができるよう、まち歩きの実態をリアルタイムで分析することが可能になった。

詳しくは
こちら



●和の博多

・博多ひもときラリー、「和の博多」まち歩き冊子配布

10/8(土)～11/6(日)

博多エリアに「ひもときスポット」を6か所設定し、博多の伝統や文化を学ぶためのクイズを設置。回答用紙に10問の回答を書いて「博多町屋」ふるさと館に行くと景品がもらえる企画を実施した。前年までのスタンプラリーから進化させ、博多のまちを歩きながら学べる施策とし、景品も人気のイラストレーターとコラボしたオリジナルステッカーを作成するなど、若年層の参加も増やすことができた。

参加者数:2,546名(景品獲得者数:848名)

まち歩き冊子配布数:1,303部



・親子で博多うどん講座 10/8(土)、10/22(土)

博多千年門・承天寺をスタートし、麺のプロである山田祐一郎氏とともに、オリジナルの教科書で博多うどんを学びながらまちを歩く企画を実施。最後はうどんを食べ、親子で博多のうどん発祥の歴史を楽しみながら学べる機会を創出した。

参加者数:

親子7組(14名)



・はしごはかた 10/14(金)、10/15(土)

櫛田表参道周辺の飲食店ではしごメニューを楽しめる専用のチケット綴りを販売する企画を初開催。チケット購入者には東雲堂とコラボしたオリジナルにわか面をプレゼントしたり、あおぞらブルワリーとのオリジナルラベルクラフトビール購入でもチケットを利用できるようにするなど、博多の食文化をより楽しんでもらう機会を創出した。

参加者数:100名

(チケット完売)



まちのにぎわいを広げる活動

●はかた夏まつり 8/10(水)～8/15(月)

はかた夏まつり実行委員会と共催で、夏場のにぎわい創出のために夏まつりを開催。博多まちづくり推進協議会としては、スタート時に会場の暑さを和らげようと、地面に水をまく恒例の打ち水や、同じく二次利用水を使用したウォーターアートのパフォーマンスを行った。会場には、かき氷やフード、ドリンクなどの屋台や、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなど、家族で楽しめる縁日も登場し、夏まつりを通して博多のまちを活気づけ、老若男女問わず様々な年代の方々が楽しめるイベントとなった。



●Fukuoka Z世代未来社会デザイン ワークショップ開催 2023年3月

Z世代の視点から、未来社会を創造することを目的に活動する団体「Re:Generation」と協働し、「Fukuoka Z世代未来社会デザイン ワークショップ」を開催した。当日は、福岡・佐賀地区の学生や社会人を中心に23名のZ世代が集まり、5つのグループに分かれて、博多を魅力あるまちに磨いていくためディスカッションした後にグループ発表を実施。「博多×食×エンタメ」、「博多×SDGs」、「博多×co creation(共創)」、「博多×空間利用」、「博多×サブスク」について、具体的な取り組み内容を交えて、Z世代目線で提案いただきました。

参加者数:23名



●はかたイー ストリート 9/29(木)～10/2(日)、3/9(木)～3/10(金)

博多駅エリア発展協議会、九州大学黒瀬研究室とともに、国家戦略道路占用事業を活用し、筑紫口中央通りの道路空間（荷捌きスペース、歩道）、公開空地等の持続的な活用と今後のあり方を検証することを目的とし、9/29(木)～10/2(日)の間、社会実験「はかたイー ストリート」を開催。期間限定で、街灯スタンド、休憩スペースを設置。また、9/29と30の夕方以降、キッチンカー、ライブステージを開催し、道路や公開空地等の公共空間の新たな活用を提供し、多くの方楽しんでいただいた。

また、9月の社会実験の結果を受け、3/9(木)、3/10(金)にも、「はかたイー ストリート」を開催する運びとなった。9月に比べて、キッチンカーが2台増え、イベントステージも30分延長し、より多くの方でにぎわった。

参加者数：約4,000名(9/29～9/30)



●アメイジングパーク明治公園 10/19(水)～10/30(日)

博多駅エリア発展協議会、九州大学黒瀬研究室とともに、明治公園における快適な空間づくりと将来の整備を見据えたあり方の検討を目的とし、10/19(水)～10/30(日)の間、社会実験「アメイジングパーク明治公園」を開催。JT様協力の元、仮設喫煙所を公園の片隅に設置し、公園内の分煙に取り組みました。また、テーブルセットやパレット等の什器の設置に加え、キッチンカー(10/19～26)、体組成計測、ベジチェック(10/24～26)、シャボン玉イベント(10/22)、アートイベント(10/23)を実施し、多くの方楽しんでいただいた。



●はかた大学

今年度も新型コロナウイルス感染症に配慮し、オンライン講座とリアル講座を組み合わせ、博多の歴史や伝統、文化に触れられるメニューを中心に準備し、はかた大学を開催した。また、はかた大学の目標の一つである、受講者の自発的なコミュニティ形成の支援に活動の重点を置いて活動した。

【ライフスタイルに関する講座】

生活の中で普段触れる機会の減ってきた素材をテーマに講座を実施。サラリーマンやOL、主婦等幅広い層の参加者が見られた。

講座名	日程	会場	講師	参加者数
日本酒の楽しみ方 講座	4/28(木)	Co-working & Co-learning Space Q (JR博多シティB1F)	紫垣 誠吾氏 (住吉酒販有限会社 常務取締役)	15名
「博多の本屋を歩こう」講座	6/27(月)	VIVISTOP HAKATA (JR博多シティ10階)	徳永 圭子氏 (書店員)	10名
クラフトビール講座	7/30(土)	ブルワーズ (BREWERS)	渡邊 英治氏 (ブルワーズオーナー@冷泉町)	12名
「絵本から考える～Well-being～vol.1」講座	8/20(土)	丸福珈琲店 (博多阪急4階)	山崎 博代氏 (絵本セラピスト®、絵本ライフ・コーディネーター)	10名
漢方的視点で、私に合った免疫力・抵抗力の高め方を見つける講座	12/14(水)	Co-working & Co-learning Space Q (JR博多シティB1F)	伏見 浩幸氏 (株式会社漢方みず堂 取締役・漢方専門相談員)	13名
初めてのDIY講座	1/28(土)	木工房KAUZ	團野 和孝氏 (家具製作技能士2級)	8名
アロマテラピー基本講座	2/25(土)	Co-working & Co-learning Space Q (JR博多シティB1F)	森 こそ恵氏 (福岡アロマ&ハーブスクール代表)	15名

【カルチャーに関する講座】

触れる機会の少なくなった日本文化について改めて考えていただけるよう、テーマを選定。

講座名	日程	会場	講師	参加者数
「松永安左衛門と福岡の近現代史」 鉄道と電力・ガスとターミナル百貨店 講座	5/31(火)	JR博多シティ 10F 会議室	益田 啓一郎氏 アーキピスト (近現代史研究家)	33名 (リアル9名、オンライン24名)
「はかたまち歩き～写真撮影講座 SNS編」講座	9/24(土)	東長寺、承天寺、御供所地区、光年青霞園茶舗	平川 雄一朗氏 (カメラマン)	8名
「龍宮寺で心身健康、自分自身を見つめるヨガ体験」講座	10/25(火)	龍宮寺	岡村 尚美氏 (ヨガインストラクター)	16名
「博多織工芸体験講座～タッセル作り」講座	10/29(土)	Co-working & Co-learning Space Q (JR博多シティB1F)	ひろわたり ちはる氏 (博多織手織技能士)	8名



「絵本から考える～Well-being～vol.1」講座



「はかたまち歩き～写真撮影講座 SNS編」講座



「龍宮寺で心身健康、自分自身を見つめるヨガ体験」講座

●博多まちづくりミートアップ

①7/7 (木) ②1/24 (火)

博多地区に関わらず、博多のまちづくりに参考になるさまざまな事業者をゲストに招き、「これからの博多のまちづくり」を考える『博多まちづくりミートアップ』。社会情勢や時代の変化に応じて新たな挑戦を行っている事業者に、各社の考え方や取り組み、今後の展望等についてお話いただき、これからの時代を生き抜くヒントを得た。

<本年のテーマ>

- ①7/7 (木) まちを魅力的にする公共空間の活用法
広島市の都心部・カミハチエリア(紙屋町・八丁堀地区)
ゲスト：一般社団法人地域価値共創センター
ディレクター 増野 良子氏
コミュニティディレクター 尾形 愛実氏
- ②1/24 (火) 開かれた宿がまちを変える! Nuiが東京/蔵前エリアに起こした変化
ゲスト：Backpackers' Japan 代表取締役CEO 藤城 昌人氏、
代表取締役CBO 石崎 嵩人氏、取締役CCO 塩満 直弘氏

参加者数：①会場20名、インターネット配信15名
②会場19名(リアル開催のみ)



歩きたくなるまちをつくる活動

●ハカタストリートバル2023 3/30(木)~4/2(日)

地下鉄七隈線「櫛田神社前駅」の開業に合わせて、はかた駅前通りにてにぎわいづくりと道路空間・公開空地の活用方法の提案を目的としたストリートバルを4年ぶりに実施。飲食ブースやソファ席を設置し、居心地の良い空間づくりを行うことで、多くの方が楽しめる空間を演出した。また、持続可能なイベントになるよう、什器はイベント時の運営や保管、継続的な利用等も考慮して設計するなど、新たな取り組みにチャレンジした。



●フリンジパーキング実証実験 12/23(金)~1/9(月)

当協議会と福岡市は、博多地区で初めてフリンジパーキングの社会実験を実施。アンケート回答者限定で提携駐車場(住吉パーキング)の駐車料金を入庫後最大12時間まで最大500円とし、また利用特典として乗車人数分の西鉄バス片道乗車券を進呈。実証実験期間中の11日間で、146台の利用実績となった。利用者アンケートでは、博多地区での恒常的な取組みを希望される方が多く、一定のニーズが確認出来た。

※フリンジパーキングとは、都心部へのマイカー乗り入れを減らすため、都心周辺部に車を駐車し、バス等で都心部に行く取組み。



●交通量調査 10/13(木)、10/15(土)

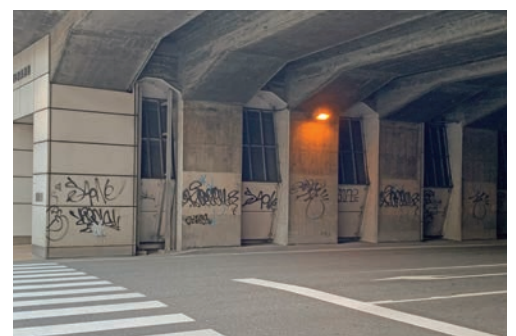
博多駅周辺の歩行者、自転車、自動車類の交通実態を把握し、経年比較を行う交通量調査を実施。歩行者交通量については、コロナ禍前である2019年の約9割程度まで回復。昨年度に続き土曜日の歩行者通行量が平日より多く「オフィス街」という特性から、「繁華街」の特性に代わりつある。自動車類交通量については、2019年から比較すると、平日・土曜日とも緩やかな減少傾向にあり、今年度は2019年に対して約1割減少した。

詳しくは
こちら



●博多駅周辺の主要道路、公園の課題解決に向けたまち歩き 11/8(火)

当協議会の主要道路及び公園(大博通り、地下通路、筑紫口、筑紫口中央通り、明治公園、音羽公園)において、環境や交通に関する課題を抽出し、今後の施策立案に繋げるためのまち歩きを実施。ベンチの設置、落書き等景観における課題や公園の利活用についての意見が上がり、来期以降の施策立案に向けた議論を進めていく。



●押し自転車の呼びかけ 毎月第3木曜日

博多警察署・福岡市と連携し、自転車利用者に対し「押し自転車」への協力を呼びかける活動を実施。住吉通りKITTE博多前にて通行量が最も多い8時30分~9時まで実施。ほぼ100%の方が「押し自転車」にご協力いただき、歩きやすい歩行者空間の実現に取り組んだ。



美しく安心なまちづくり

アクション

- V まちの防災機能の強化
- VI 美しく、環境に配慮したまちづくり
- VII 全ての人にとって、安全・安心なまちづくり

●クリーンデイ

毎月第3木曜日の朝の時間を活用し、博多駅周辺の清掃活動を実施。博多口駅前広場には毎回約300名の参加者が集合し、まちづくりの基本である「まちの美化」に取り組んだ。9月のクリーンデイでは、前身の博多駅前線活性化協議会が1996年に開催した第1回クリーンデイから通算して300回を迎えた。300回を記念し、参加者全員に協議会のロゴが入った軍手をプレゼントした。

また、4月と11月には、通常のクリーンデイよりも清掃エリアと時間を拡大して行う一斉清掃や落書き消し活動を行う「スペシャルクリーンデイ」を今年度も実施した。

年間参加者数:3,277名

年間ゴミ回収量:474.35kg



●博多ひ～んやり! 打ち水 7/21(木)～7/28(木)

大勢で一斉打ち水を行うことで、夏の暑さを和らげ、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に開催している打ち水を実施。まち協事務局メンバーを中心に結成した「打ち水キャラバン隊」が7/21(木)に博多口駅前広場に一旦集合し、福岡県警察音楽隊「安全・安心コンサート」協力のもとオープニングイベントを開催。その後、筑紫口にて会員企業ビルの広場を訪問して打ち水を実施した。

また、7/21(木)～7/28(木)にかけて、協議会会員企業の協力によりバケツや柄杓を無償貸与して打ち水を実施していただく「打ち水サポーター」については、期間中で約100名の方が参加した。



●第17回防犯講習会 2/20(月)

博多警察署生活安全課様を講師としてお招きし、博多警察署管内で発生している「性犯罪」の発生件数や具体的な事例、被害に遭わないために気を付けておくべきことを学んだ。また、いざ被害にあった時に身を守る「護身術講座」を行った。

博多警察署管内の性犯罪および護身術について

講師 博多警察署生活安全課 藤川 正司氏、松山 佑実奈氏

参加者数:23名



●はかた駅前通り・筑紫口植栽帯管理事業

はかた駅前通り及び、博多駅筑紫口近辺にてフラワーポット179基の管理を行い、植栽による通りの美しさの演出に努めた。また、地下鉄七隈線開業に合わせ、新たに18基のフラワーポットを新駅「櫛田神社前駅」周辺の新たに整備された「はかた駅前通り」歩道上に設置。まちの魅力や価値を高める、花によるまちづくりに努めた。



協議会活動の充実、他組織との連携

●地域イベントとの連携

- 5月20日 博多駅筑紫口地区合同パトロール
- 6月16日 ラブアース・クリーンアップ2022(福岡市)
- 1月11日～12月25日 福岡クリスマスマーケット2022(Fukuoka Christmas Market実行委員会)
- 1月29日 第10回令和4年度WEB版福岡検定(福岡検定実行委員会)
- 2月3日 節分祭(東長寺、住吉神社)
- 通年 福岡県警察音楽隊「安全・安心コンサート in 博多」

●他都市との情報交換(視察受入)

- 9月5日 株式会社URリンケージ/UR九州支社
- 10月11日 福山市議会 新政クラブ
- 11月24日 (株)ポリテック・エイディディ(東京駅八重州口再開発)
- 12月21日 梅田地区エリアマネジメント実践連絡会
- 1月24日 千葉・総合政策局都市戦略部 幕張新都心課

●先進事例視察

- 11月21日 名古屋駅地区街づくり協議会
- 11月22日 錦2丁目エリアマネジメント(株)、一般社団法人TCCM

●他組織への参画(委員就任、会議出席など)

- ・全国エリアマネジメントネットワーク
- ・天神博多商業連携会議
- ・博多警察署協議会
- ・博多千年門・承天寺通り振興会
- ・博多の魅力発信会議
- ・博多みらい企画会議
- ・福岡ミュージックマンス会議
- ・博多ライトアップウォーク実行委員会
- ・福岡検定実行委員会
- ・福岡市屋外広告物審議会
- ・筑紫口駅前広場再整意見交換会
- ・福岡市バリアフリー推進協議会
- ・福博花しるべ実行委員会
- ・ユニバーサル都市・福岡推進協議会
- ・博多と福岡を結ぶ国体道路の空間利活用委員会
- ・第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会実行委員会

情報発信・自主財源の確保

●情報発信

①SNSの活用

協議会のSNS (Instagram、facebook) を開設。

各部会におけるイベントの参加募集や活動報告をタイムリーに情報発信した。

詳しくは
こちら



②街路灯バナー案内サイン

はかた駅前通りにおいて外国人から案内を求められることが多い「キャナルシティ博多」などの5カ国語案内サインを掲出。(日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語)

また、寺社エリアへの観光導線強化を目的に、空港通りへ案内サインを掲出。



●自主財源事業

③エリアマネジメント広告事業

はかた駅前通り・大博通り・住吉通りの街路灯バナーを広告枠として販売し、その収入を協議会の活動費に一部あてている。



④まちづくり支援自動販売機事業

売上金の一部を博多まちづくり推進協議会の活動費として寄付していただく自動販売機の設置企業を募集。



⑤公開空地活用事業

公開空地における売上金の一部を、まちづくり協力金として事業者より収受。



その他の活動実績

●定例会議の実施

4月13日 2022年度通常総会

7月26日 第1回理事会 ※書面会議にて開催

10月18日 第2回理事会

12月16日 第3回理事会

3月17日 第4回理事会

○ 博多まちづくり推進協議会会員一覧

【正会員】

(株)朝日新聞社、(株)朝日ビルディング 九州支社、(株)アサヒファシリティズ 九州支店、(株)石村萬盛堂、(株)伊藤園、(株)ウエルビー、エヌ・ティ・ティ都市開発 (株) 九州支店、(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス、(株)大林組 九州支店、鹿島建設(株) 九州支店、堅粕校区自治協議会、紙と産業(株)、九州勸業(株)、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)九電工、麒麟ビール(株)、(株)神戸製鋼所 九州支店、西部ガス(株)、(株)ザイマックス九州、(株)サニクリーン九州、JR九州サービスサポート(株)、JR九州ファーストフーズ(株)、JR九州フードサービス(株)、JR九州ホテルズ(株)、JR九州リテール(株)、(株)JR博多シティ、JPビルマネジメント(株)、住友商事九州(株)、住吉自治協議会、筑前國一之宮 住吉神社、成和商事(株)、損害保険ジャパン(株)、大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 西日本CXセンター、(株)竹中工務店 九州支店、(株)TVQ九州放送、(有)デュークスホテル、(株)テレビ西日本、東京建物(株) 九州支店、(株)西日本シティ銀行、西日本鉄道(株)、西日本電信電話(株) 九州支店、西日本旅客鉄道(株) 山陽新幹線統括本部 福岡支社、日本たばこ産業(株) 福岡支社、日本郵政不動産(株)、博多駅南西街区まちづくり協議会、博多校区御供所自治協議会、博多校区冷泉自治協議会、(株)博多ステーションビル、(株)博多住吉ホテルマネジメント グランドハイアット福岡、博多バスターミナル(株)、(株)博多福住、ハニーファイバー(株)、(株)阪急阪神百貨店 博多阪急、東住吉校区自治協議会、(株)ひよ子、(株)ファビルス、深見興産(株)、(株)福岡銀行、福岡地所(株)、福岡商工会議所、(株)福岡リアルティ、(株)ふくや、(株)福山コンサルティング、(株)フジタ 九州支店、(株)ホテル日航福岡、(株)丸井 博多マルイ、三井不動産(株) 九州支店、(株)明月堂、(株)八百治、安田不動産(株)、(株)山口油屋福太郎

【一般会員】

(株)朝日印刷 福岡支店、朝日生命保険(相) 福岡支社、アサヒビール(株)、(学)麻生塾 麻生公務員専門学校 福岡校、(学)Adachi学園、(株)アットマーク・ラーニング、RKB毎日放送(株)、安藤造園土木(株)、(株)伊予銀行 福岡支店、(有)内田エステート、(株)エイジェック 福岡オフィス、SMBCコンシューマーファイナンス(株)、(株)エフエム福岡、(株)エフ・ジェイ ホテルズ サンライフホテル2・3、(株)オー・エイチ・アイ、(株)岡部マイカ工業所、(株)オカムラ、オリエンタルホテル福岡 博多ステーション、(株)鹿児島銀行 福岡支店、上内電気(株)、九州朝日放送(株)、(株)九州DTS、(株)九州博報堂、(株)共立電照、(株)近鉄・都ホテルズ 都ホテル博多、(株)久米設計 九州支社、(株)グリーンディスプレイ 福岡支店、KDDI(株) 九州総支社、こくみん共済 coop 福岡推進本部、コクヨマーケティング(株)、コーユーレンティア(株) 九州支店、五洋建設(株) 九州支店、西京ホンダ販売(株)、(株)サエキジャパン、(株)サニックス、ザ ロイヤルパークホテル 福岡、(株)サンケイディライト、三建設備工業(株) 九州支店、(株)サン・ライフ、JR九州エージェンシー(株)、JR九州高速船(株)、JR九州コンサルタンツ(株)、JR九州商事(株)、JR九州セコム(株)、JR九州ビルマネジメント(株)、JR九州レンタカー&パーキング(株)、(株)ジェイアールサービスネット福岡、(株)ジェイアール西日本ビルトピープラス、七洋物産(株)、(株)シティビル、清水建設(株) 九州支店、住友生命保険(相)、セコム(株) 博多統轄支社、(株)船場、(株)大広九州、(株)ダイスプロジェクト、大成ジオテック(株)、(株)大東和、太陽生命保険(株)、(株)ティーケービー、東急建設(株) 九州支店、TOTO(株) 九州支社、(株)ドラッグイレブン、長崎船舶装備(株)、(株)二鶴堂、(株)西日本新聞社、日本生命保険(相)、(株)日本旅行 九州法人営業部、neuet(株)、ネオス(株)、博多駅商店連合会、博多駅東街づくり連合会、(株)博多グリーンホテル、(株)博報堂プロダクツ 九州支社、(株)早川不動産、日之出水道機器(株) 九州営業所、(株)日比谷花壇、(公財)福岡観光コンベンションビューロー、NPO法人 福岡建築ファウンデーション、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)、(株)復建エンジニアリング 福岡支社、(株)ベルシステム24 HR本部 業務支援部 西日本総合業務グループ、(株)ホライズン・ホテルズ 博多ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル福岡、前田建設工業(株) 九州支店、三井ガーデンホテル福岡祇園、三井住友海上火災保険(株)、(株)未来図建設、(株)森硝子店、(株)八百治博多ホテル、(株)山下設計 九州支社、UCCコーヒープロフェッショナル(株)、LINE Fukuoka(株)、ルートインジャパン(株)、YSボール(株) 九州支店

【特別会員】

九州大学、国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、(独)都市再生機構 九州支社、(株)日本政策投資銀行 九州支店、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡県、福岡県警察、福岡市

【正会員 72、一般会員 94、特別会員 9、賛助会員 8 計183会員】

2023年4月1日現在(五十音順)